

シュライカー大阪、
そしてフットサルそのものの
魅力が皆さんの胸に届くよう、
熱く激しい戦いをお約束します。



村上 哲哉選手
むらかみ てつや

1981年生まれ。山口県出身、川崎医療福祉大学を経てフットサル界へデビュー。2007年シーズンは関東リーグの名門FIRE FOX（ファイアフォックス）FUCHUにてキャプテンを務め、2008年全日本フットサル選手権に出場。2008年にシュライカー大阪へ移籍。左右の足から繰り出す華麗なシュートが魅力。2011年シーズンよりキャプテンを務めており、現在は全日本代表選手にも選ばれている。愛称は「テツ」。

Special Interview

スペシャルインタビュー



世界を舞台に活躍を続ける「サムライジャパン」。

そしてこの夏、日本中を感動で包み込んだ「なでしこジャパン」…。

話題の尽きないサッカーの人気とともに、着実にファンを増やしているのがフットサルです。

4年前には日本リーグである「Fリーグ」も発足。

現在では北海道から九州まで、全国10チームが熾烈な戦いを繰り広げています。

そんな中、我が街大阪に拠点を置き、フットサル界をリードし続けているのがシュライカー大阪。

今回は同チームのキャプテンであり、日本代表にも選ばれている村上選手にお話を伺いました。

―フットサルを始めたきっかけを教えてください。

村上 子ども頃の頃からサッカーを続けていた私は、当然のように大学でもサッカー部へ入部。ところが、ある名門フットサルチームの練習に参加して気持ちが一変しました。フットサルならではのトリックキーな動きに魅了され、同時に自分のプレイスタイルにピッタリだと確信したんです。

―なるほど。それで大学卒業後はフットサル選手に…。

村上 じつは消防士を目指していたんです（苦笑）。ところ

が公務員試験の約2ヶ月前にフットサルの大会で足首を骨折。ギブスを巻いたまま筆記試験に臨みましたが、実技は受けられず不合格に。もし試験に合格していたら、今の自分はいないはず。

―まさにケガの功名ですね。その後はどうされましたか。

村上 全国大会の常連チームFIRE FOX FUCHUのセレクションを受けて入団しました。1年目はほとんど試合に出られず悔しい思いをしましたが、3年目にはキャプテンとして全国大会へ。同年、シュライカー大阪のアドリ

ブー監督（当時）からオファーを受け、翌年の2008年にFリーグデビューを果たしました。

―得点力を期待される※アラというポジション。しかも今年は、キャプテンの大役を担っています。

村上 アラとしての強みは左右の足、どちらからでもシュートが撃てること。実際、ゴールの確率はほぼ同じ。Fリーグ全体でも珍しく、今後相手手を翻弄して得点を重ねたいですね。キャプテンとしては選手が自分自身を、仲間を、勝利を信じて戦い抜けるよう、



2011年9月29日 大阪市中央体育館にて

大声で檄を飛ばしています。

―観客席からも大きな声援が聞かれますが…。

村上 大阪のサポーターの方は、とにかく元気で明るい。感情をストレートにぶつけてくれるのも特長です。時には「何してんねん」「そらアカンやろ」といった声も。それだけ私たちが熱心に応援してくれていると思う、「もっと頑張ろう！」という気持ちになります。

―とくにホームスタジアムの大阪市中央体育館は、ピッチとアリーナ席の距離が近いで

すよね。

村上 わずか数メートルなので、客席にボールが飛び込むことも（笑）。皆さん、笑顔でボールを返してくれますよ。また、このピッチは球が走りやすく、よりスリリングな展開になるので、試合も大いに盛り上がります。

―最後にメッセージをお願いします。

村上 Fリーグ発足から5年目、フットサルの人気はまだまだ発展途上にあります。生観戦された皆さんは「思ったより面白い！」と口を揃え、シュライカー大阪の遠征先まで毎回必ず応援に来てくれるサポーターもいるほどです。ちなみにリーグ戦最終節は、2012年の2月を予定。まだまだトップを狙える位置にあります。大阪市中央体育館は交通の便が良く、隣には緑がいっぱいの大きな公園も。ぜひ気軽に遊びに来て下さいね。

●村上選手のサイン色紙をプレゼントします。くわしくはP12をご覧ください。

※フィールドプレイヤー（ビヴォ、アラ、フィクソ）のうち、得点力はもちろん、攻守のバランスを取るため、スピードとスタミナがより要求される